

Wi-Fiカメラ 取扱説明書 CamHiメインメニュー編



最新更新日：2026年9月 第1版

Wi-Fi/SD録画カメラシリーズ説明書識別

B

本製品には、本書の取扱説明書は同封されておりません。以下のQRコードよりダウンロードしてご覧ください。

本書の役割

本書は、アプリ「CamHi」のメインメニューについてのご説明になります。

各取扱説明書ダウンロードQRコード・URL

本書	A	取扱説明書 基本編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-A-CamHi-Registration.pdf
	B	取扱説明書 CamHiメインメニュー編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-B-Camhi-mainmenu.pdf
	C	取扱説明書 設置工事・仕様書編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-C-700series-kouji.pdf
	D	取扱説明書 HiP2/パソコンlientで パソコン運用編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-D-HiP2/パソコンlient.pdf
	E	取扱説明書 パソコンでの録画映像の 再生方法編 (SDの中身をパソコンで 見る 方法を含む)		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-E-パソコンview.pdf

販売会社：合同会社エレックスシステム お問い合わせ先：info@elexsystem.co.jp 電話：045-317-9873

©ELEX_SYSTEM LLC.,Ltd. All Rights Reserved.

目次

1.パスワード変更	P 3
2.動体検知アラーム	P 3
3.AIアラーム	P 4
4.動体検知アラームの動作	P 5
5.録画スケジュール	P 6
6.音量	P 6
7.ビデオ・ストリーム	P 7
8.Wi-Fi	P 8
9.SDカード	P 8
10.タイムゾーン	P 8
11.メール送信	P 9
12.FTPアップロード	P 10
13.システム	P 10
14.デバイス情報	P 10
参考情報1：録画日数	P 10
参考情報2：動体検知録画とは	P 11

CamHiアプリのライブ映像、録画映像再生方法の説明は商品同梱（ダウンロード可）の、

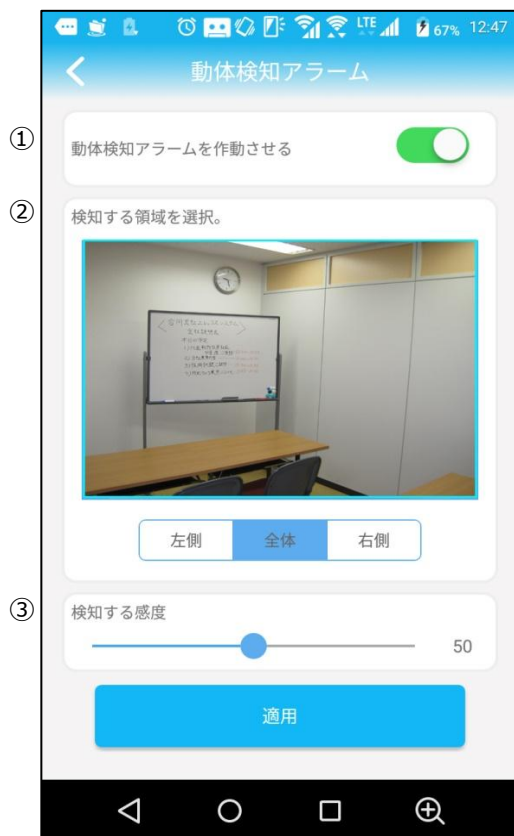
取扱説明書・基本編【A】を参照してください。

1.パスワード変更

本機のログインパスワードを変更します。

2.動体検知アラーム

ライブ映像上に何か動きがあった場合、本機より警報ブザーを鳴動させる・録画するという動作の事前設定になります。
ここではライブ映像上に動きを検知する範囲・感度を設定します。



① 動体検知アラームを作動させる

下記設定の「検知する領域を選択」「検知する感度」設定を最終的にON/OFFかを設定します。
この例ではON状態を示します。

② 検知する領域を選択。

検知範囲を設定します。
左側・全体・右側
から設定します。

③ 検知する感度

感度を設定します。
感度が高すぎると木の葉の揺れなども検知するため、設置後に実際の環境で調整してください。

保存する場合は「適用」をタップしてください。
戻る場合は画面左上の「<」をタップ。

※ この設定の直後に・・・

【P5】-「4.動体検知アラームの動作」
設定もセットで行ってください。
この設定のみでは動体検知設定は終わりません。



動体検知作動条件は
【P11】-「参考情報2：動体検知録画とは」
ご注意ください。

3.AIアラーム

ライブ映像上で人（または指定オブジェクト）を識別して検知し、録画を行う機能です。



① AIアラーム

当設定のON/OFFを設定します。
この例ではON状態を示します。

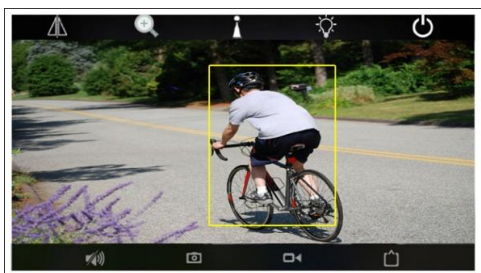
② 識別タイプ

3種類の識別対象から選択します。

- 1) ヒューマノイド識別 → 人
- 2) 人間と車両認識 → 人と車
- 3) 人間とペット → 人と動物

③ 認識オブジェクトをフレーム化する

「②」で設定した対象を検知したとき、ライブ映像上で黄色の枠線を表示するか否かの設定です。
左写真が枠の表示例になります。



④ 感度を調整する

「②」で設定した対象の動きを捉える強度の設定になります。
数字が多ければ多いほど、対象を捉える感度・強度は高くなります。

⑤ アラームトリガー

検知の種類を選択します。

- 1) 単独トリガー
本項のAIアラーム作動のみ
- 2) リンケージトリガー
本項のAIアラーム作動と動体検知のどちらかの作動

表示例は

Android

です。iPhoneの場合は多少表示が異なります。

最終的な保存ボタンはありません。

変更した段階で設定保存されます。

戻る場合は画面左上の「<」をタップ。



ご注意

設定する場合、以下にご注意ください。

- 被写体が小さい、または顔部分のアップなどは検知しない場合があります。
- 設定後は、必ず意図通りに検知されるか試運転（テスト）を行ってください。
- 万が一、設置状況などで検知具合がイメージ通りでない場合は動体検知録画のご利用をおすすめします。

4. 動体検知アラームの動作

前項「②動体検知アラーム」の「検知する領域を選択」「検知する感度」設定で動体検知した場合の本機動作を設定します。



① アプリでの通知

動体検知アラームが作動するとスマートフォンにプッシュ通知が表示されます。

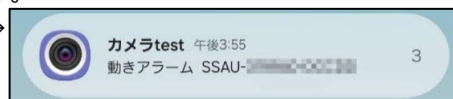
② 名前をプッシュ

スマートフォンに表示されるプッシュ通知のタイトルになります。

(また本機のカメラタイトルの変更も兼ねます)

任意設定することができます。

プッシュ通知表示例 →



③ 動画をSDカードに保存

動体検知時のみ録画を行いたい場合は、

【P6】-「5.録画スケジュール-録画スケジュール」

の「録画を有効にする」をOFFにしてください。

動体検知時は本機に挿入されているSDカードに15秒録画します。

④ アラームSDカード画像

動体検知アラーム作動した瞬間をjpg画像としてSDカードに保存します。
保存内容を見る手順は、

- 1) 画面最下部の「写真」をタップ。
- 2) 画面上部の「SDカード・・・/端末に保存・・・」の2つのボタンのうち、左側の「SDカード・・・」をタップ。
- 3) 上記「名前をプッシュ」と同じタイトルまたはUID番号で、画像を見たいカメラリストをタップ。
- 4) jpg画像がリスト表示される。
- 5) 同リストの右上のカレンダーをタップすると、日付別でjpg画像を見る事が出来ます。

⑤ 画像をメールで送信

本機がルーターに接続されているかつ

【P9】-「11.メール送信」で

設定されていた場合、画像をスマートフォンへ送信します。

⑥ 画像をFTPサーバーに保存

本機がルーターに接続されている時、

設定した保存先サーバーに画像を保存します。

⑦ 動画をFTPサーバーに保存

本機がルーターに接続されている時、

設定した保存先サーバーに動画を保存します。

⑧ 写真撮影枚数

上記、メール設定・ルーター設定されている場合、
動体検知作動時の画像が設定した枚数、指定された宛先へ送信されます。送信される画像が2枚または3枚の場合1秒置きになります。

⑨ アラーム通知音の設定

本機マイク部からサイレンを鳴動します。

サイレンの通知音・鳴動長が変更できます。

鳴動音は、

- ・ アラーム音
- ・ 犬の鳴き声
- ・ カスタム

→ カスタムの場合、「録音」ボタンが表示され、長押ししながら話すと、本機に登録され、そのまま鳴動音に設定されます。
録音終了後の「聞く」でそれを確認できます。

最後に同画面右上「確定」をタップして保存してください。

最終的な保存ボタンはありません。

変更した段階で設定保存されます。

戻る場合は画面左上の「<」をタップ。

5.録画スケジュール



① 録画の長さ

録画データはSDカードに保存されますが、保存される録画データ1ファイルあたりの長さを決定します。初期設定は600秒です。

② 録画を有効にする

録画動作のON・OFFを設定します。

③ ストリームの設定

【P7】-「7.ビデオストリーム」で設定した第一ストリームか第二ストリーム何れかで設定するかを設定します。通常は「第一ストリーム」で設定してください。

④ 録画スケジュール

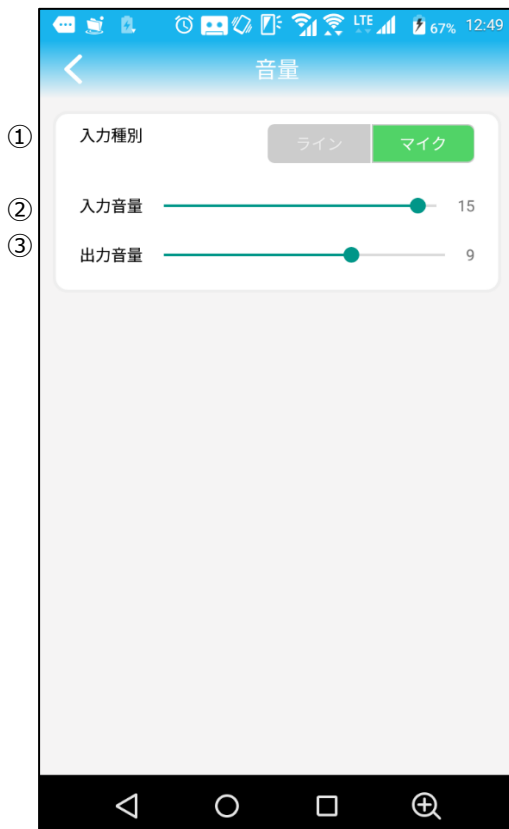
録画動作をどのように作動させるかを設定します。

通常は「常に録画する」を設定してください。

また、動体検知関連設定を行い、動体検知時のみ録画したい場合は「録画しない」を設定してください。

保存する場合は「適用」をタップしてください。
戻る場合は画面左上の「<」をタップ。

6.音量



① 入力種別

「マイク」を選択してください。

② 入力音量

本機マイクで集音した音を、スマートフォンで聞く場合の音量を設定します。

③ 出力音量

スマートフォンから喋った音声の本機から鳴動するとき、またはアラーム警報音の本機から鳴動するときの音量を調整します。

最終的な保存ボタンはありません。
変更した段階で設定保存されます。
戻る場合は画面左上の「<」をタップ。

7.ビデオ・ストリーム

ライブ映像・録画映像の画質を設定します。



● 第一ストリーム

ライブ映像で、
「ライブ映像ストリーム選択」-「精高（HD）」の画質
録画画質の設定になります。

解像度：録画・ライブ映像の解像度を設定します。
1920×1080
で固定になります。
（カメラモデルにより異なります）
画面比は16：9です。

符号率：転送ビットレートで高ければ高いほど高画質
になりますが、他回線などの兼ね合いもあります
ので、高ければよいという事でもありません。
初期設定値は「1000」になります。

フレームレート：1秒間に何コマ配信・録画するかの数値です。
多ければ多いほどきめ細やかな動きになりますが
SDカード容量の消費が大きくなります。
初期設定値は「10」になります。

ビデオ画質：画質になります。6段階で数値が小さいほど高画質
（鮮明）な画質になりますが、SDカード容量の消費
大きくなります。
初期設定値は「2」です。

これら設定値でSDカード容量に対しての録画日数は決まります。
この録画日数に関する説明は【P10】-「参考情報1：録画日数」を
ご覧ください。

● 第二ストリーム

ライブ映像で、
「ライブ映像ストリーム選択」-「SD」の画質
設定の内容は「第一ストリーム」と同じです。

● ビデオ周波数

ライブ映像でちらつき（フリッカー）などが発生している場合、
東日本で本機をお使いの場合：50Hz
西日本で本機をお使いの場合：60Hz
で設定してください。

表示例は

Android

です。iPhoneの場合は多少表示が異なります。

保存する場合は「適用」をタップしてください。

戻る場合は画面左上の「<」をタップ。

8. Wi-Fi

商品同梱（ダウンロード可）の、取扱説明書・基本編【A】
【P15】-「10.外出先から本機へアクセス・映像確認・操作する接続方法」
をご覧ください。

9. SDカード



本機に挿入されているmicroSDカードの状況を表示します。

保存容量：本機に挿入されているmicroSDカードの仕様上容量をMB単位で表します。

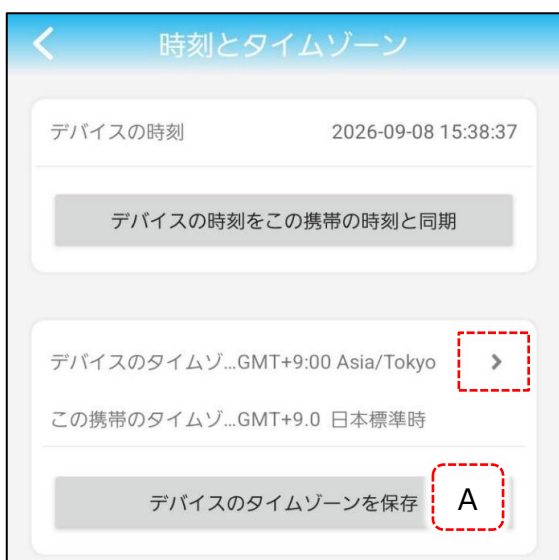
※ 1GB = 約1,000MB換算
例：117,982MB ÷ 約117.9GB

空き容量：本機に挿入されているmicroSDカードの今現在の空き容量を表します。
MB単位で表します。
常時録画されておりますと、左写真のような中途半端な数字が常に表示されます。

SDカードを：本機に挿入されているmicroSDカードを初期化します。
フォーマット

※ 保存容量と空き容量が表示されないまたは「0」の場合、microSDカードが認識されていない事になります。
本機カメラ側で一度、microSDカードの抜き差しを行っていただくか、本機カメラの電源OFF/ONを行ってください。

10. タイムゾーン



デバイスの時刻をこの携帯の時刻と同期

現在操作しているスマートフォンの時刻に本機の時刻を合わせます。

デバイスのタイムゾーンを保存

枠内の矢印をタップすると世界のタイムゾーンが表示されますので、ここでは「GMT+9:00 Asia/Tokyo」を選択した後、[A]をタップしてください。
その直後、再起動のメッセージが表示されますので「OK」をタップして、再起動してください。

戻る場合は画面左上の「<」をタップ。

11.メール送信

アラーム検知時に、設定したメールアドレス宛へ検知情報（画像・動画・通知内容）を送信する設定です。

SMTPサーバー : yahooメールの場合 → smtp.mail.yahoo.co.jp
gmailメールの場合 → smtp.gmail.com

ポート : 465

暗号化 : SSL

認証 : ON（●印が右側の状態）

ユーザー名 : メールユーザーアカウント（送信元メールアドレス）

パスワード : メールパスワード（Outlookなどの場合、アカウント設定に必要なパスワード）

送信先アドレス : 送信先メールアドレス

送信元アドレス : 送信元メールアドレス

件名 : 任意項目（メールタイトル）

本文 : 任意項目（文章）



左写真は設定例になります。

保存する場合は「適用」をタップしてください。
戻る場合は画面左上の「<」をタップ。

12.FTPアップロード

転送先のFTPサーバーへ諸情報を転送します。

13.システム

カメラの再起動：本機を再起動します。再起動まで3分程度要します。
再起動中は録画はされません。

カメラのリセット：本機の設定関係を初期化します。

更新：本機がルーターに接続されていた場合、アプリを更新します。

14.デバイス情報

本機のシステム・デバイス・IP情報を表示します。

参考情報1：録画日数

録画画質設定と使用するmicroSDカードの容量により、録画日数は異なります。
録画画質設定を変更する場合は、下記表を参考に設定してください。

画素数 解像度設定	画面比 録画方式	画質 全6段階 3～6省略	1秒間の 録画枚数 全1～30	microSDカード容量別・録画日数目安値		
				標準付属品	別売品	
				32GB	64GB	128GB
200万画素 1920× 1080	16:9 H.265	2:高	20	5.0	10.0	20.0
			15	6.0	12.0	24.0
			10	7.0	14.0	28.0

- 上記録画日数は目安です。人通りの量などの情報量で変動します。
- また上記録画日数は映像上に常時何らかの動きが1日のうち12時間はあるという想定で積算です。
- 色塗り箇所は出荷時設定による録画時間です。
- 配信レート（ビットレート）は1,000kbps統一の積算です。
- 1秒間の録画枚数は1～25枚迄設定可能ですが、上記では10～20枚以外は省略しています。
- 自動静止画キャプチャーを設定すると上記録画日数は下がります（静止画分容量消費する為）。
- 動体検知録画を使用すると、動きがある時だけの録画なので足掛け録画日数は増えます。

●動体検知（動き検知）録画

当カメラの動体検知録画機能は、映像上で何も動きが無い場合は

【録画停止状態が続きます。】

映像上で何か動きがあった場合、

【録画を開始します。】

当然、動体検知録画ではなく

【常時録画】も可能です。

●本機カメラから動体検知の有効距離●

検知距離	小刻み動作 の場合	歩行などの 極端動作	車両など の走行
0m以上 2m未満	○	○	○
2m以上 5m未満	○	○	○
5m以上 8m未満	×	○	○
8m以上 20m未満	×	×	○

※検知感度レベルは最大値100の場合

結果、SDカードのメモリの節約により録画の足掛け日数増大！



動体検知録画は以下の構成になります。

●1度検知し、録画がスタートすると15秒録画を行います。

●連続の動体検知は継続して録画を行います。そして最後に検知してから12秒後に動体検知が終わります。

●microSD カードのファイルは1ファイル15秒になります。



その他のご説明については本書の表紙のQRコード欄をご覧ください、目的別に説明書をダウンロードしてください。

